

生産現場の危機意識を高め、 高病原性鳥インフルエンザ対策の再徹底をお願いします。

全国で発生が継続する中、令和6年11月21日に農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議が開催され、以下の①～④について、改めて対策の強化が必要であると示されました。

① 危機感の共有

- ・ 自農場が安全と過信しない。
- ・ 「消毒（石灰散布など）」や「ネットや畜舎の破損確認と修繕」の徹底

② 飼養衛生管理の「隙」を埋める対策

- ・ 新たな対策の検討（外来者の消毒の徹底、鶏舎への粉塵侵入防止）
- ・ 早期通報の徹底

今シーズン多くの事例で通報の遅れが疑われている状況です。

1日の違いであっても、遅れと見なされています。

死亡羽数が通常の2倍以上に増えたら、すぐに通報してください。

③ 大規模農場対策・再発対策

- ・ 過去に発生があった地域は、注意が必要です。
- ・ 大規模農場は、発生時の影響が大きいため、飼養衛生管理の再点検を！

④ 発生時の速やかな防疫措置

◇ 直近の発生状況

1日で複数件確認されるなど、継続して発生しています。

国内	22 例目	23 例目	24 例目
発生日	令和7年1月9日	令和7年1月10日	令和7年1月10日
農場所在地	愛知県常滑市	愛知県常滑市	愛知県常滑市
飼養状況	採卵鶏、12.9万羽	採卵鶏、5.7万羽	採卵鶏、12万羽

◇ 飼養衛生管理者向け研修動画（公開中）⇒⇒

URL : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g66/eiseimovie.html>

【研修動画の主な内容】

- ・ 発生させないためのポイント
- ・ 早期発見、早期通報、手当金減額に関する情報
- ・ 令和6年全国会議で示されたポイント



★家さんに異状が認められた場合は、速やかに、かかりつけの獣医師
又は最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間休日) 090-7205-0895
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間休日) 090-7205-1402
県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間休日) 090-7205-1826